

ウイングアーク1st株式会社

データドリブな人事領域の意思決定を支えるデータ分析基盤を構築 HRMOS Core・Dr.Sum・MotionBoardを活用し、人事データ活用を推進

ウイングアーク1st株式会社は、帳票基盤ソリューションとして幅広い顧客に導入されている「SVF」と電子帳票プラットフォーム「invoiceAgent」を核とした帳票・文書管理事業、BIツールとして市場から高い支持を得ている「Dr.Sum」、「MotionBoard」を軸とするデータエンパワーメント事業という、2つの領域で製品・サービスを展開するソフトウェアベンダー。同社では、人事領域でのさまざまな意思決定や施策の展開を支援するデータ活用環境を、自社製品のDr.Sum、MotionBoardを活用し構築。その際、人事システムとして採用しているHRMOS Coreが保持する各種人事データを、Dr.Sumへと集約する連携ツールとして「ASTERIA Warp Core」を導入した。今後、SaaSなど人事関連の外部サービスのデータも柔軟に取り込み、分析・提供する仕組みを実現し、人事データ活用の推進に取り組んでいく。

導入背景

- 人材活用戦略の強化、現場のマネジメント支援、従業員の自律的なキャリア形成支援、人的資本開示の義務化に向けた対応といった観点から、人事領域で積極的にデータを活用していきたいと考えてきた
- 人事領域において、データ分析に基づく戦略策定など高精度な意思決定を支えるデータ活用環境の構築が求められていた
- 人事システムが保持する大量のデータを、分析用のデータ基盤へと集約していくには、膨大な工数が想定された

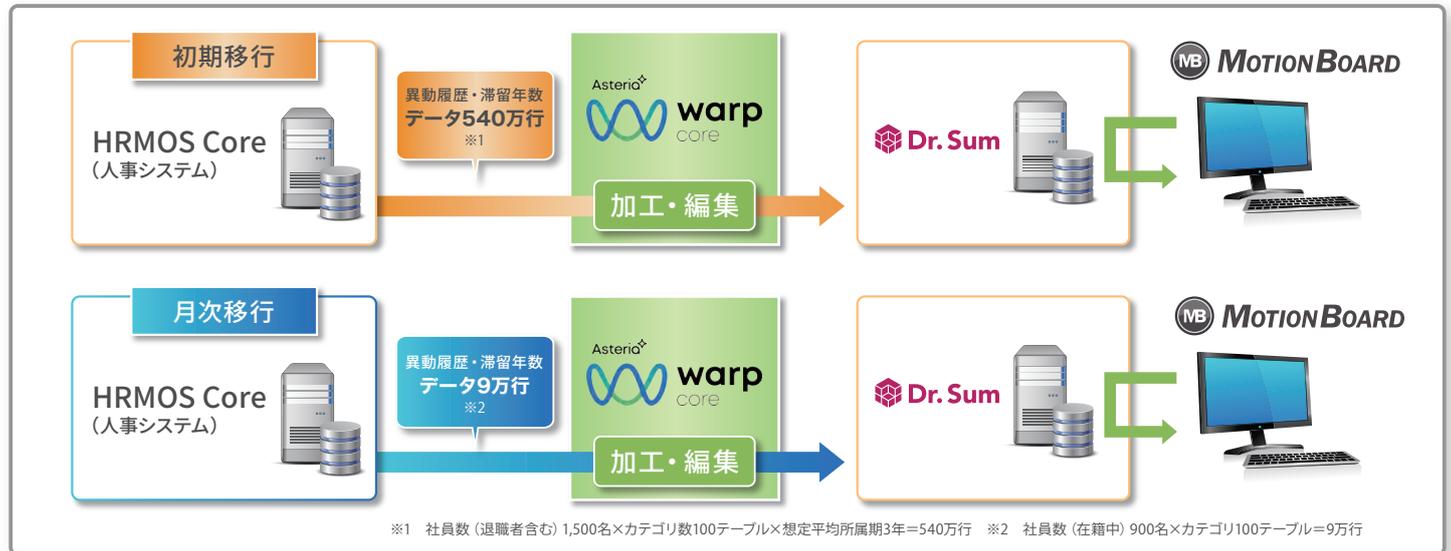
選定ポイント

- 人事領域のシステム連携において豊富な実績があった
- Dr.Sumと容易な接続を実現するアダプターがあり、さらに、HRMOS CoreともAPI経由でスピーディーに接続可能
- “開始日”“終了日”を基準とした人事異動履歴の管理など、人事システム特有の複雑なデータ構造を、分析用途に適したデータに加工・編集するための機能が充実

効果

- HRMOS CoreからDr.Sumへの各種データの連携を自動化。手作業で約1万5000時間の工数が見込まれていた処理が約168時間で完了。作業工数を98%削減
- データ移行後は、月次処理で在籍中の従業員にかかわる更新分データを自動反映。手作業で約250時間の工数を要する処理が、わずか1時間に短縮
- 人事領域におけるデータドリブな意思決定を支えるデータ分析基盤を整備。今後想定される関連サービスとの連携にも柔軟に対応可能

システム概要



ユーザーのひと言



現在、当社では、人事システムからDr.Sumに集約された各種データを可視化するため、MotionBoardによるダッシュボード構築を進めています。これにより、迅速な課題抽出や、より高度な人事領域での意思決定を支援していきます。今後、さらに多様なサービスから広範な人事関連データを分析基盤へと集約し、例えば従業員の自律的なキャリア形成や、ステークホルダーへの人的資本開示などの局面で、データ活用の価値最大化を目指していきたいと考えています。

ウイングアーク1st株式会社 People Success部 星野 菜月 様
柳 貴大 様

User Profile

WingArc 1st

The Data Empowerment Company

所在地：東京都港区六本木3-2-1 六本木グランドタワー

会社概要：帳票基盤ソリューション、BIツールを中心としたソフトウェア製品・クラウドサービスを開発・提供

業種：情報通信業

URL：https://corp.wingarc.com/